

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月18日			
平成15年度	事業コード	23130	電話	042(751)9107
担当部課名	消防本部	消防総務	課	施設 班
事務事業名	消防職員貸与被服購入費			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	安全に暮らせる都市の実現をめざします	事業開始年度
基本施策名	第1節	災害に強いまちづくり	63以前年度
施策名	第3施策	消防力の強化	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市消防吏員の服制等に関する規則、相模原市消防吏員の服装等に関する規程

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

義務的経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1) 事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2) 対象(誰、何)
消防職員として、市民の生命や財産を守るため災害時における消防・救助・救急活動を行うにあたり、いかに自らの安全を確保するために必要な被服を着用させるか、又、平常時には市民から見て一目で消防職員であることを判別してもらうことができるかという観点から被服貸与を行う。そのことにより市民に対していかに安心感を与えられるかということもその目的のひとつである。	消防職員 対象数 589人(H14.4.1実数)
(3) 平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
更新貸与分 ... 18,988千円 新規職員分 ... 7,185千円 人事異動分 ... 7,437千円 毀損対応分 ... 4,811千円 I S O防火衣(救助隊分)導入分... 5,935千円	
(4) 個別計画の概要	概要
計画名 なし	なし
計画年次 年度～年度	

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	I S O対応型防火衣導入割合(%)	導入済累計数/導入予定計画数(564着)×100	I S O対応型防火衣導入割合から消防職員への活動性や安全性の向上度をみる。	0	3.2	9.6	18.4	38.5
活動指標	上に同じ	上に同じ	上に同じ	0	3.2	9.6	18.4	38.5

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	42,721	46,970	44,356	28,265	40,550
人員・時間数	1人・103日	1人・104日	1人・92日	1人・92日	1人・92日
人件費	3,070	3,102	3,373	3,373	3,373
その他経費	0	0	0	0	0
合計	45,791	50,072	47,729	31,638	43,923
特定財源	0	0	0	0	0
対象数	582	589	589	599	599
対象の単位あたり経費	78.7	85.0	81.0	52.8	73.3

10 個別評価

(1)達成度 評価 C ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 低
		説明	平成13年度及び本年度においては救助隊へのISO対応型防火衣の導入が図られるが次年度からは消防隊への導入が始まるため、達成率としては低いものとなっている。
(2)必要性 評価 B ▼	A:適応している	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっていない
	B:一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	多様化する災害に対して、今まで以上に危険にさらされることが予想され常に時代に対応するための調査研究が求められる。
(3)有効性 評価 B ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	市民の生命や財産を守るためには、守る側の安全性の確保をまずされなければならないものである。このことにより、市民への安心感のサービスが図られる。
(4)効率性 評価 B ▼	A:優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	装備の特殊性ゆえ、対費用効果の点では妥当かどうかは判断が分かれるところである。
(5)公平性 評価 B ▼	A:公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	一括して導入が困難なため、最初に導入したものと後年に導入したものととの差がでてくる可能性があり再考の余地がある。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	説明: 消防職員として最低限その活動上必要とされるものは貸与しており、規則等で定められた更新措置も本年度をもって休止状態となるため、成果向上の余地はない。	手段	リース契約又はローン契約により、必要数を一括導入することが可能であり、金利及び手数料を含めても毎年度計画的に購入をする方法よりも経費の削減余地がある。
		削減額	約25,000千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較 先進都市においても、ISO防火衣の導入は整備されつつあり、関心の高さが伺える。別紙を参照。
今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 消防職員として災害活動上において身の安全を確保しながら、市民の生命や財産を守るために必要な被服類を貸与することは不可欠なものである。一方、平常時においては公安職として市民からの視点で消防職員であることを認知してもらうためにも必要と考えられるものである。
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--